

(別紙4(2))

事業所名: グループホームしおさい

## 目標達成計画

作成日: 令和 3年 1月 5日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	2か月毎に身体拘束適正化委員会を開催し結果を「介護記録」に記載しているが、ホームでの委員会の開催状況が分かるよう、日時・参加者・議題等を明確にした身体拘束適正化委員会議事録を残しておくことが望ましい。	身体拘束適正化委員会議事録を作成し記録を残す。	他の事業所で使用している書式を参考に職員の意見を聞き議事録を作成する。また、実際に使用し使いやすい書式か職員会議で検討する。	6ヶ月
2	35	ホームでは避難する際や避難後に活用できるよう介護度が高い入居者の名札を準備しているが、避難した場所でよりスムーズな入居者確認ができるよう全員分の名札を準備することを期待したい。	緊急避難時使用する入居者全員分の名札を作成する。	職員会議を開催し、下記の内容について意見を収集する。 ・名札の大きさ、形、保管場所、表示内容 情報が曖昧や不足する場合は家族等へ確認をとる。	2ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。